

「無電柱化の日」に合わせて、北海道と協働でパネル展を開催

- 北海道開発局では、「道路の防災性の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」、「良好な景観の形成や観光振興」の観点から、積極的に無電柱化を推進しています。
- 11月10日の「無電柱化の日」に合わせて、無電柱化を推進している目的や取り組み状況を広く知っていただくために北海道と協働でパネル展を開催しました。
- このほか、全道26の会場で開発建設部が主体となりパネル展を開催しました。

無電柱化を進める理由

道路の防災性の向上

台風や地震などの災害時に、電柱倒壊の危険がなくなります。また、倒れた電柱により道をふさがれることがないため、災害時の緊急車両の通行もスムーズになります。



台風による電柱の倒壊
(国道275号 札幌市)

安全で快適な 通行空間の確保

無電柱化により歩道の幅が広がり、通行空間の快適性・安全性を確保します。



通行の障害
(国道274号 札幌市)

良好な景観の 形成や観光振興

景観の障害要因となる電柱・電線をなくすことで、美しい景色を取り戻します。



羊蹄山の眺望
(国道5号 ニセコ町)

パネル展の開催状況

- 日時: 2020年11月9日(月)~11月11日(水)
- 会場: 北海道庁本庁舎1階 道政広報コーナー 特設展示場
- 主催: 国土交通省北海道開発局・北海道

○パネル展の開催状況 (来場者数494名)



○展示パネル (36枚展示)



■11月10日は「無電柱化の日」

平成28年12月に成立した「無電柱化の推進に関する法律」において、国民の間に広く無電柱化の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、11月10日を無電柱化の日と位置付け、国及び地方公共団体は、その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めることとされています。

「1」を並ぶ電柱に見立て、それを「0」にするという意味で11月10日としています。